

舗装事業

Road Civil
Engineering



令和6年度 愛南地区舗装修繕工事/愛媛県南宇和郡愛南町

「ともに、未来につづく道を」
全てのステークホルダーと共に

舗装事業は、舗装工事とアスファルト合材の製造販売を主軸に、全国約200拠点の営業所・工場を展開しています。地域ネットワークを活かし、高速道路などの大規模インフラから民間の外構工事まで幅広く対応。アスファルト合材の製造販売では業界トップシェアを持ち、安定供給と高品質な製品で市場をリードしています。



みねざき けんじ
峯崎 賢司
前田道路株式会社
常務執行役員 製品事業本部長

舗装事業を担う前田道路は、2025年3月に創業100周年を迎えました。1925年の創業以来、地域とのつながりを大切に守りながら事業環境の変化に挑み、国内におけるアスファルト舗装の先駆者として挑戦し続けてきました。前田道路は「ともに、未来につづく道を」という新たな経営理念のもと、より良い社会インフラの創造を通じて持続可能な社会の実現に貢献し、次の100年に向けてさらなる価値創造を目指していきます。

SWOT分析

Strength 強み

- 全国に広がる強固な地域ネットワーク
- 専属の協力的会社制度による高い機動力
- 業界トップクラスの工事利益率・アスファルト合材販売実績

Weakness 弱み

- 景気変動や公共投資に左右されやすい事業構造
- 原油価格や為替変動によるコスト変動
- 技術者の高齢化と人材確保

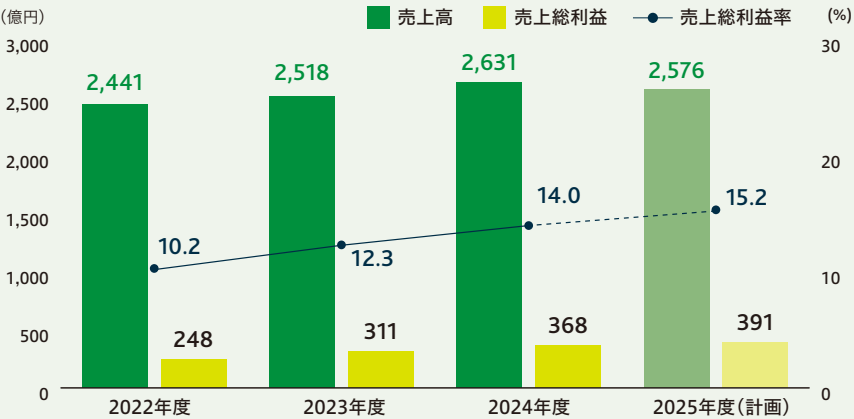
Opportunity 機会

- インフラの老朽化に伴う維持管理市場の拡大
- 道路管理会社による大規模更新事業の加速
- ESG・SDGsへの社会的要請の高まり

Threat 脅威

- 世界情勢や日米金利差による原材料費の高騰
- 技術者不足による施工体制の不安定化
- 環境対応の遅れによる社会的評価の低下

業績の推移



Medium-term Vision 2027 実現に向けて

＞ 外部環境に左右されないより強固な基盤事業へ

工事業では、売上高重視から利益重視への転換を図り、受注時規律の徹底と赤字工事の撲滅による営業活動を推進することで、収益性を大幅に改善しました。今後も利益重視に基づく施策を継続するとともに、グループ間での連携による官庁工事やPPP／PFI、包括的民間委託事業の受注拡大を通じて、外部環境に左右されない安定的な収益基盤の構築を目指します。

また、新たな挑戦として完全週休2日に取り組んでいます。近隣営業所や合材工場における職種ごとのグループ化やITツールの活用による業務効率化、生産性向上を進め、働き方改革と持続的な成長を両立させていきます。

＞ 地域に最適な戦略でシェアを拡大し、他社の追随を許さない事業へ

製品事業では、原油価格の高騰や円安による原材料費の高騰がありましたが、他社に先駆けて価格転嫁を行ってきたことで、いち早く収益性が改善しました。今後もアスファルト合材市場の縮小や原材料費の変動など、厳しい市場環境は続くと思われませんが、外部環境に応じた適切な販売価格の見直しを継続するとともに、M&Aも含めた地域ごとの最適な戦略を実行していくことで、さらなるシェア拡大を図ります。さらに、マイルドパッチ※の国内展開に加え、海外市場への積極展開を進め、他社の追随を許さな競争優位性を確立していきます。

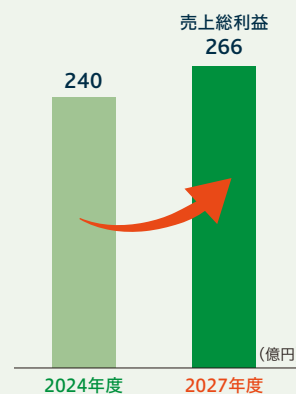
＞ ※マイルドパッチ：水をかけて締め固める袋詰め常温アスファルト混合物

＞ 自社と社会のサステナビリティ実現を目指す

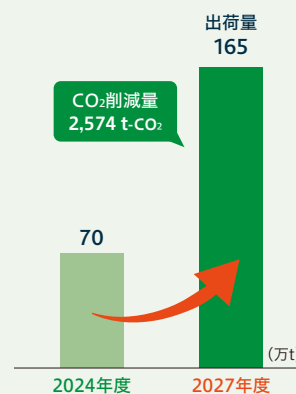
インフロニアグループのCO₂排出量のうち、約95%が舗装事業におけるアスファルト合材製造に起因しており、脱炭素は事業を継続する上での最重要課題だと認識しております。今後は、環境に配慮した中温化合材「ecole（エコール）」の出荷拡大や、バイオ重油の社内供給を推進し、CO₂削減に努めてまいります。

また、以前よりCO₂排出量削減量を明示した独自の「アクションレポートCO₂削減証書」の発行を実施しています。CO₂排出量の見える化により、サプライチェーン全体としての脱炭素化にも貢献できるよう推進してまいります。

建設事業売上総利益の推移



「ecole（エコール）」出荷量の推移



社員の声



しかくろ かずのり

鹿倉 一慶

前田道路株式会社

東京支店 昭島合材工場 工場長

グループの一員として、地域の道を支える

前田道路に入社後、アスファルト合材製造工場の品質管理担当者に従事し、前田建設の現場も含め、環境負荷低減効果の高い低炭素合材の販売促進に努めてきました。現在は、前田道路の強みである業界最大規模のネットワークと地域密着を武器に、東京の多摩地区にある工場、営業所と連携しながら日々奮闘しています。グループ間のさらなるシナジー創出を模索しつつ、優秀な仲間と共に工場の運営に携わっている事が日々の活力にもつながっています。